

インフォコム株式会社

2014年3月期 決算説明会

2014年4月24日

United Innovation
infocomgroup



インフォコムグループは、
ICTの**進化**を通じて、
社会のイノベーションに
貢献します。

- 1 2014年3月期 決算
- 2 2015年3月期 業績予想
- 3 2015年3月期の取り組み

1 2014年3月期 決算

2014年3月期 決算ハイライト (連結)

(単位：億円、%)

	2013年3月期	2014年3月期	前年同期比	
	金額	金額	増減額	増減率
売上高	373.8	391.3	+17.5	+4.7
営業利益	35.0	36.7	+1.7	+5.0
(営業利益率)	(9.4)	(9.4)		
経常利益	34.8	36.8	+1.9	+5.7
当期純利益	20.8	20.4	△0.3	△1.8
1株当たり 当期純利益(円)	74.51	73.98	△0.53	△0.7
R O E	12.2	11.1	△1.1	

■ 増収・増益 → 3期連続で売上高、営業利益は過去最高を更新
 → 6期連続営業増益

セグメント構成と重点3事業

ITサービス セグメント

ヘルスケア事業
エンタープライズ事業
サービスビジネス事業

医療・企業・公共機関向け

ヘルスケア

GRANDIT

電子書籍

ネットビジネス セグメント

ネットビジネス事業

一般消費者向け

ITサービス・セグメントの業績（連結）

（単位：億円、％）

	2013年3月期	2014年3月期	前年同期比	
	金額	金額	増減額	増減率
売上高	249.3	254.1	+4.8	+1.9
営業利益 （営業利益率）	28.7 (11.6)	30.7 (12.1)	+1.9	+6.8

- 売上高：一般企業向けは弱含みも
ヘルスケア事業の業容拡大により増収
- 営業利益：品質管理の継続的強化による採算性の向上
不採算事業譲渡など事業構造改革による改善
重点事業の成長加速に向けた先行投資を実施

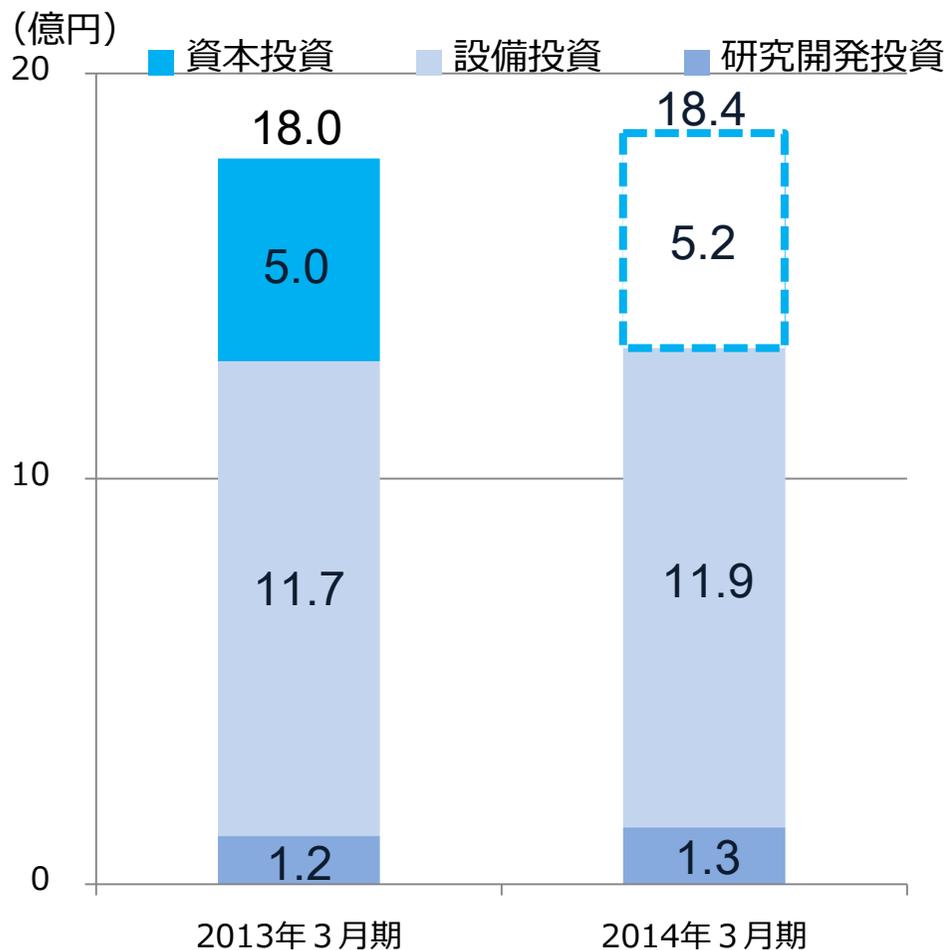
ネットビジネス・セグメントの業績（連結）

（単位：億円、％）

	2013年3月期	2014年3月期	前年同期比	
	金額	金額	増減額	増減率
売上高	124.4	137.2	+12.7	+10.3
営業利益 （営業利益率）	6.1 (5.0)	5.9 (4.3)	△0.1	△2.2

- 売上高：電子書籍が好調（100億円突破）で増収
- 営業利益：eコマースの構造改革コスト、ゲームへの資源投入、海外展開に向けた投資を継続するが電子書籍の増益により吸収し前期並みに着地

投資実績



主な内容		(億円)
資本投資	米国ベンチャーファンド インフォミュートス ドウマン、Six Apart, Inc. など	5.2
設備投資	ソーシャルゲーム	11.9
	デジタルコンテンツ管理システム	
	ヘルスケア看護勤務管理システム	
	ヘルスケア放射線システム	
	ヘルスケア診療情報管理システム	
	GRANDIT開発	
研究開発投資	新技術開発（全社研究）	1.3
	その他	

成長加速に向けて、継続的に投資を実施

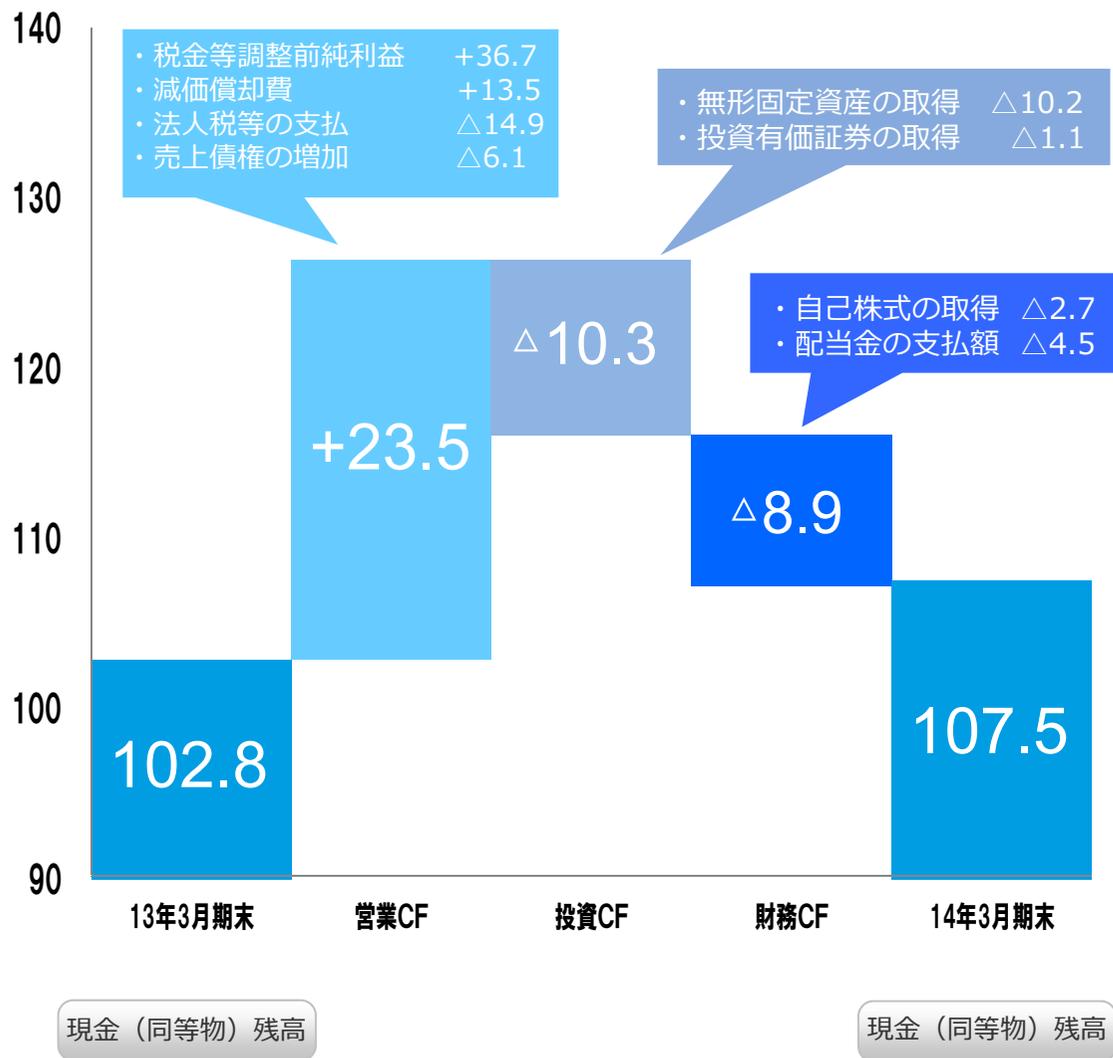
貸借対照表 (連結)

(単位：億円、%)

	2013年3月期末		2014年3月期末			主な増減要因
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	
流動資産	194.3	74.1	211.8	76.2	+17.4	<ul style="list-style-type: none"> ・現金及び預金+4.6 ・受取手形及び売掛金+7.0
固定資産	67.7	25.9	66.1	23.8	△1.6	<ul style="list-style-type: none"> ・有形固定資産△3.1 ・投資有価証券+1.8
資産合計	262.1	100.0	278.0	100.0	+15.8	
流動負債	79.7	30.4	81.5	29.3	+1.7	<ul style="list-style-type: none"> ・買掛金△0.5 ・未払法人税+2.6 ・未払金+1.1
固定負債	3.6	1.4	2.8	1.0	△0.8	
負債合計	83.4	31.8	84.3	30.4	+0.9	
純資産合計	178.7	68.2	193.6	69.6	+14.8	<ul style="list-style-type: none"> ・利益剰余金+15.8 ・自己株式△2.5
負債・純資産合計	262.1	100.0	278.0	100.0	+15.8	
自己資本比率	67.6%		68.7%			

キャッシュ・フロー（連結）

(億円)



(単位：億円)

	2013年 3月期	2014年 3月期	増減
営業キャッシュ・フロー	30.3	23.5	△6.7
投資キャッシュ・フロー	△16.3	△10.3	+6.0
フリーキャッシュ・フロー	14.0	13.1	△0.7
財務キャッシュ・フロー	△9.3	△8.9	+0.4
現金及び現金同等物に 係わる換算差額等	0.6	0.4	△0.1
現金及び現金同等物の 増減額	5.1	4.6	△0.4
現金及び現金同等物の 期首残高	97.7	102.8	+5.1
現金及び現金同等物の 期末残高	102.8	107.5	+4.6

株主還元

		2013年3月期	2014年3月期
自己株式 の取得	取得株式数 (株)	600,000	300,000
	取得総額 (百万円)	288	276

			2013年3月期	2014年3月期 (提案予定)
配 当	1株当たり 配当金 (円)	普通配当	15.0	17.5
		記念配当*	1.5	—
		(計)	16.5	17.5

*会社設立30周年記念配当

配当性向	配当/純利益	22.1%	23.7%
総配分性向	(自社株買い+配当)/純利益	36.0%	37.1%

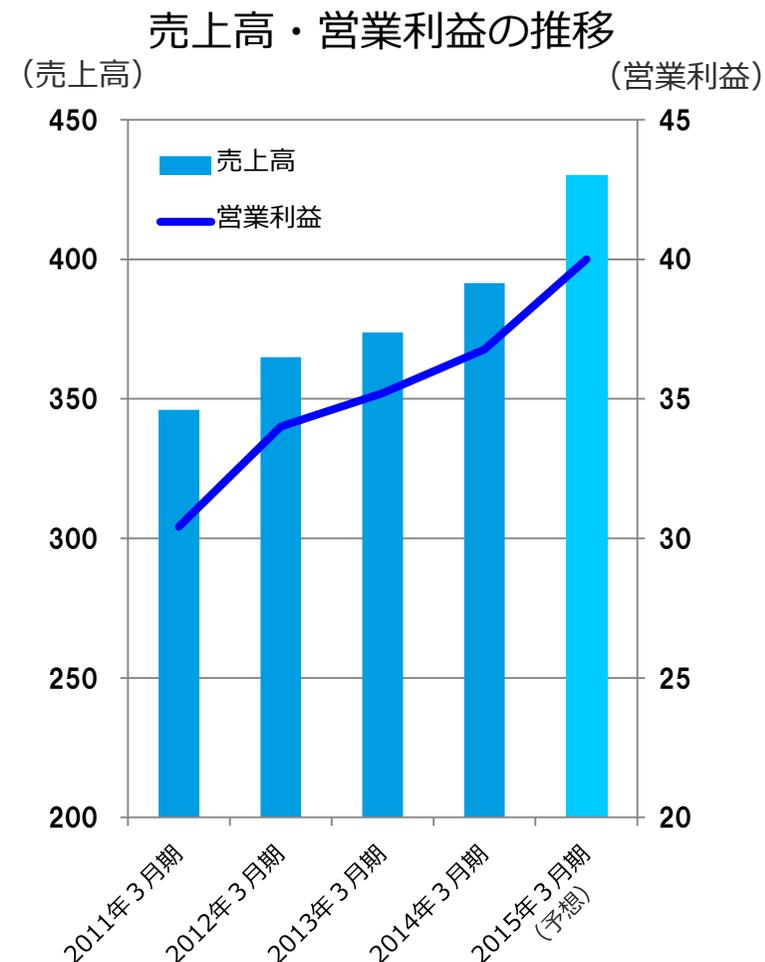
(注) 当社は、2013年10月1日付で、普通株式1株につき200株の割合で株式分割を実施しました。
そのため、株式分割前の自己株式取得数および1株当たり配当金は株式分割を考慮した数値に修正しております。

2 2015年3月期 業績予想

2015年3月期 業績予想 (連結)

(単位：億円、%)

	2014年3月期	2015年3月期 予想		
	通期	通期	増減額	増減率
売上高	391.3	430.0	+38.6	+9.9
営業利益	36.7	40.0	+3.2	+8.8
経常利益	36.8	40.0	+3.1	+8.5
当期純利益	20.4	23.0	+2.5	+12.6
1株当たり 当期純利益	73.98	84.13	+10.14	+13.7
R O E	11.1	12		



事業基盤整備、構造改革と継続的投資の成果が発現し始め
4期連続の増収・増益

ITサービス・セグメント業績予想（連結）

（単位：億円、％）

	2014年3月期 (注)	2015年3月期 予想		
	通期	通期	増減額	増減率
売上高	259.2	270.0	+10.7	+4.1
営業利益 (営業利益率)	28.2 (10.9)	30.0 (11.1)	+1.7	+6.3

(注) 2014年3月期までネットビジネス・セグメント属した連結子会社のシックス・アパート株式会社およびSix Apart, Inc.が2015年3月期よりITサービス・セグメントに移るため、当ページに記載の2014年3月期の数値はセグメント変更後の数値としています。そのため6ページに記載した業績の数値と異なります。

ヘルスケアとGRANDITの事業拡大

ネットビジネス・セグメント業績予想（連結）

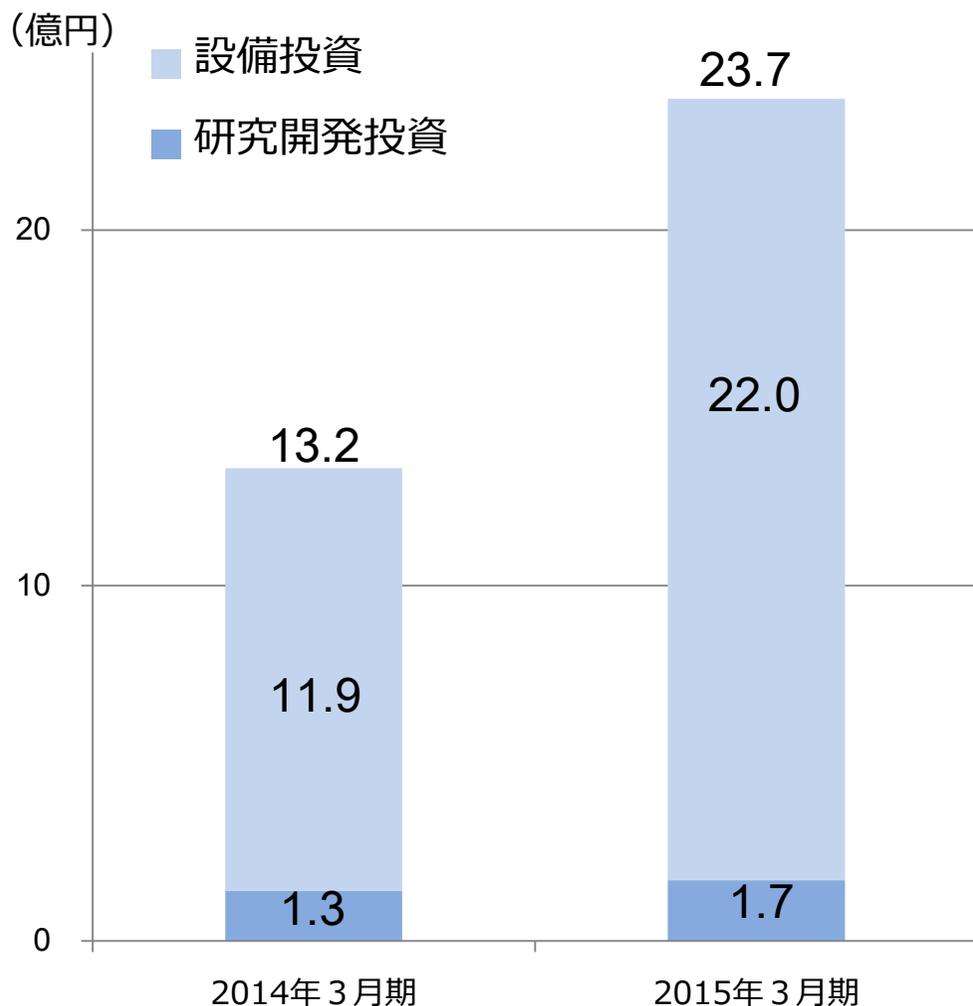
（単位：億円、％）

	2014年3月期 (注)	2015年3月期 予想		
	通期	通期	増減額	増減率
売上高	132.1	160.0	+27.8	+21.1
営業利益 (営業利益率)	8.4 (6.4)	10.0 (6.3)	+1.5	+17.8

(注) 2014年3月期までネットビジネス・セグメント属した連結子会社のシックス・アパート株式会社およびSix Apart, Inc.が2015年3月期よりITサービス・セグメントに移るため、当ページに記載の2014年3月期の数値はセグメント変更後の数値としています。そのため7ページに記載した業績の数値と異なります。

■ 電子書籍を主軸に事業拡大

投資計画

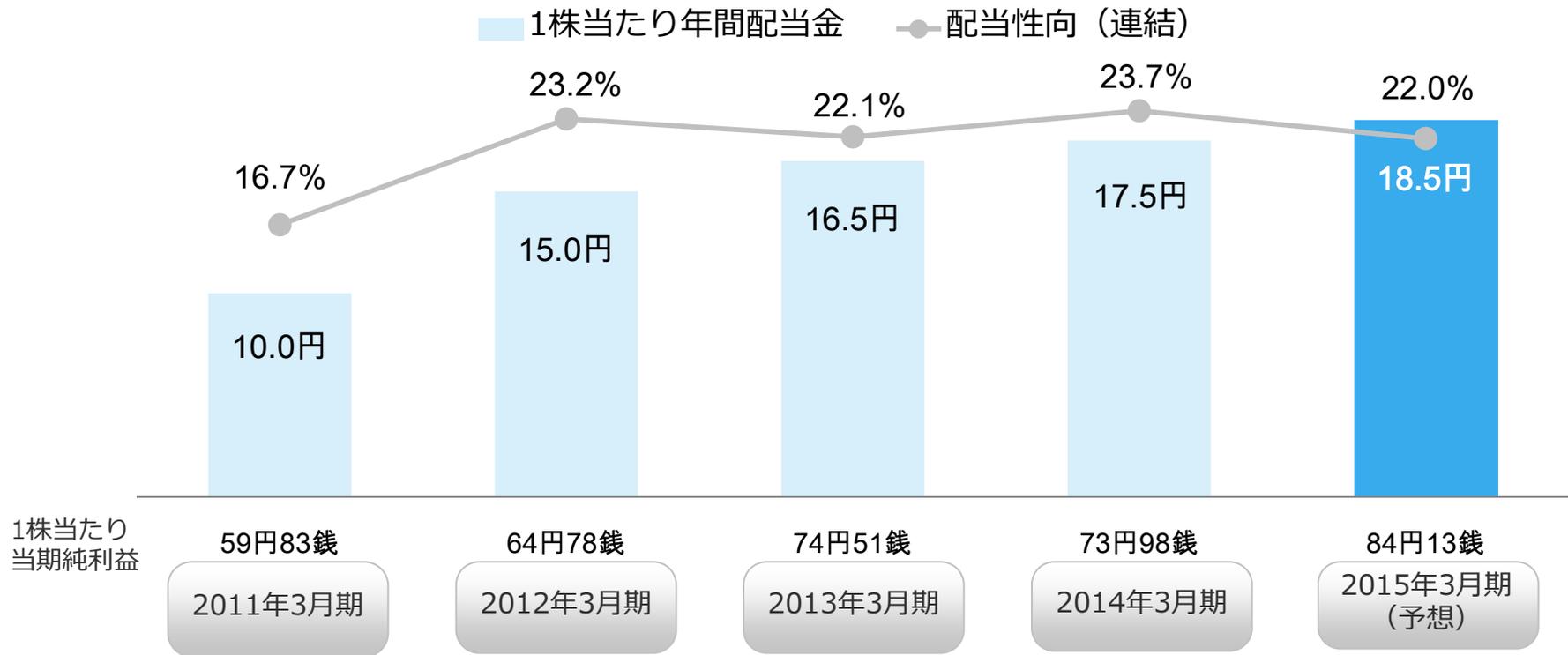


主な内容		(億円)
設備投資	電子書籍サービス強化	22.0
	新ゲーム開発	
	放射線情報システム機能強化	
	病院向け新サービス開発	
	GRANDIT新機能開発	
	データセンターサービス基盤強化	
研究開発投資	新技術開発 (全社研究)	1.7
	その他	

(注) グラフ・表には資本投資分は含まず

2015年3月期も成長に向けた継続的な投資

■ 配当 : 2015年3月期は1円の増配を予定



(注) 当社は、2013年10月1日付で、普通株式1株につき200株の割合で株式分割を実施しました。そのため、株式分割前の1株当たり年間配当金および1株当たり当期純利益は株式分割を考慮した数値に修正しております。2014年3月期の1株当たり年間配当金は、第32回定時株主総会に付議予定の金額です。

■ 自己株式の取得 : 必要に応じて機動的に実施予定

3 2015年3月期の取り組み

中期経営計画の進捗状況

1. 事業成長

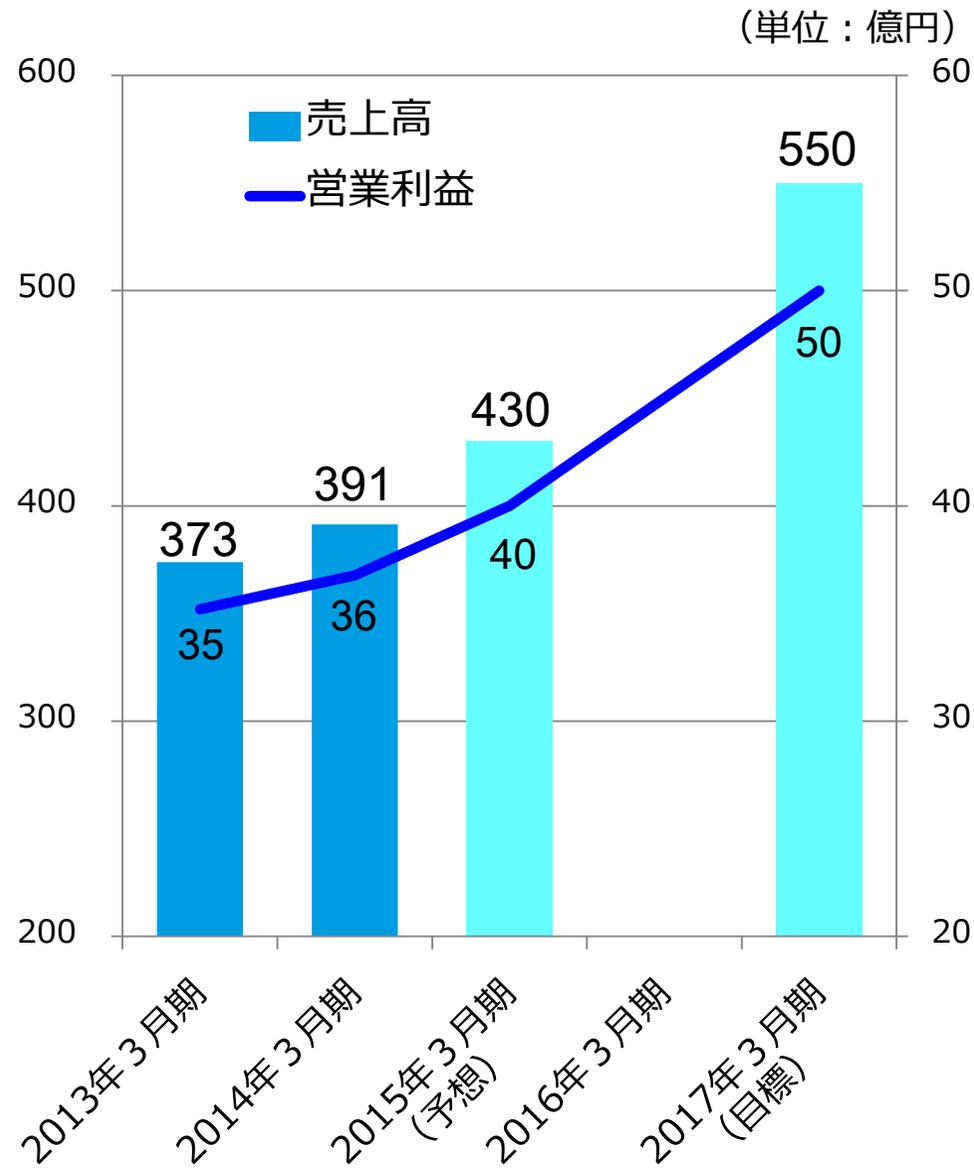
- 電子書籍の対象マーケット拡大を図る
次のステージを狙えるポジションに
- ヘルスケア成長の方向性を定め成長路線へ
- GRANDITのプラットフォーム戦略で
利益ある成長へ

2. 構造改革

- ネットビジネス分社化
- eコマースの統合
- 知財管理システムなど不採算ビジネス整理

3. 事業基盤整備

- 業績を重視した処遇制度
- ソフトウェア品質管理を上流工程へ
- 社内ITシステムリニューアル
スマホ対応
- スタートアップバトル、実践コミュニティ



ネットビジネス

- ・ 電子書籍
- ・ ソーシャルゲーム

ヘルスケア

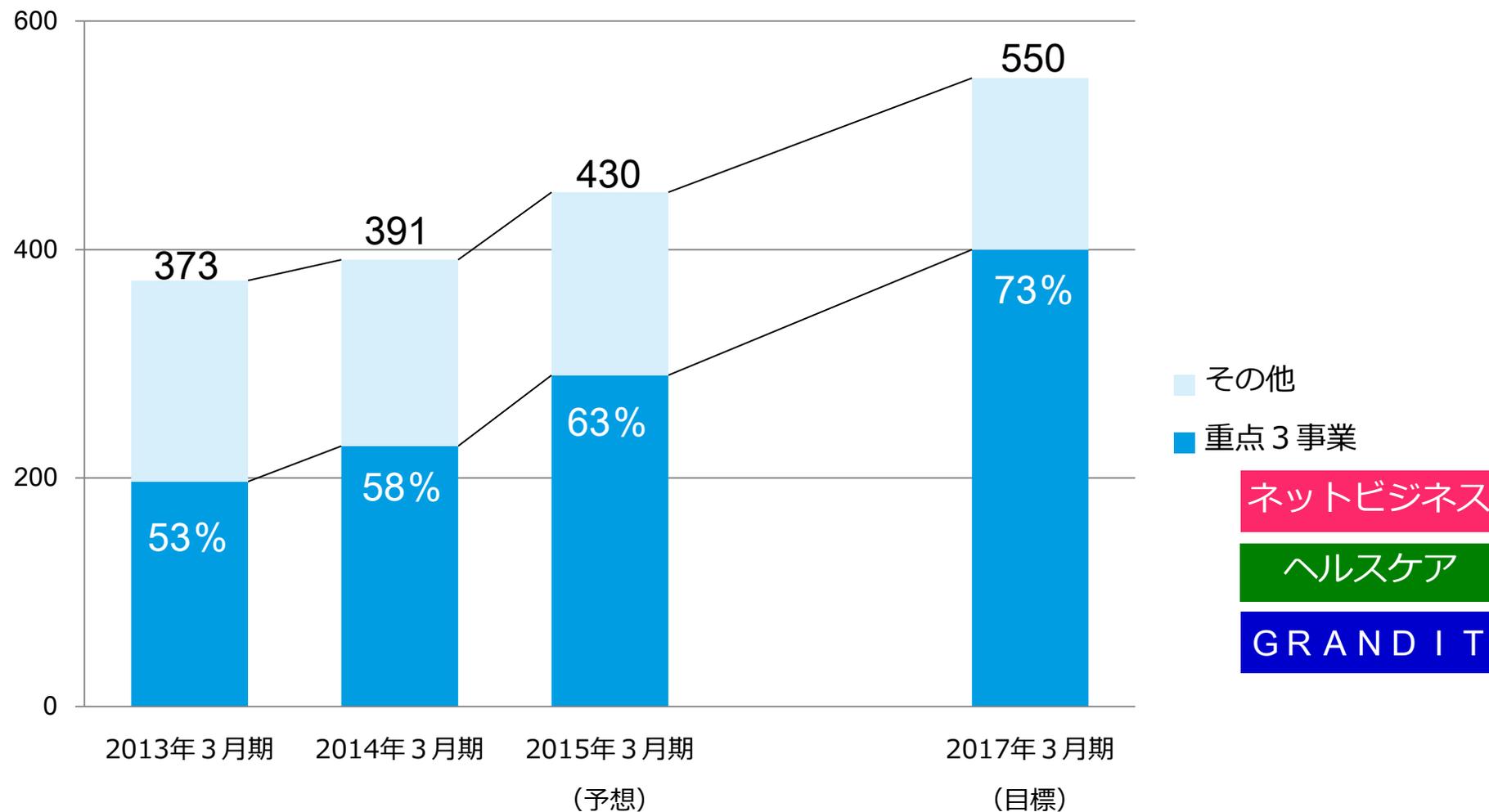
- ・ 病院向け
- ・ 製薬企業向け
- ・ 健康系新サービス開発

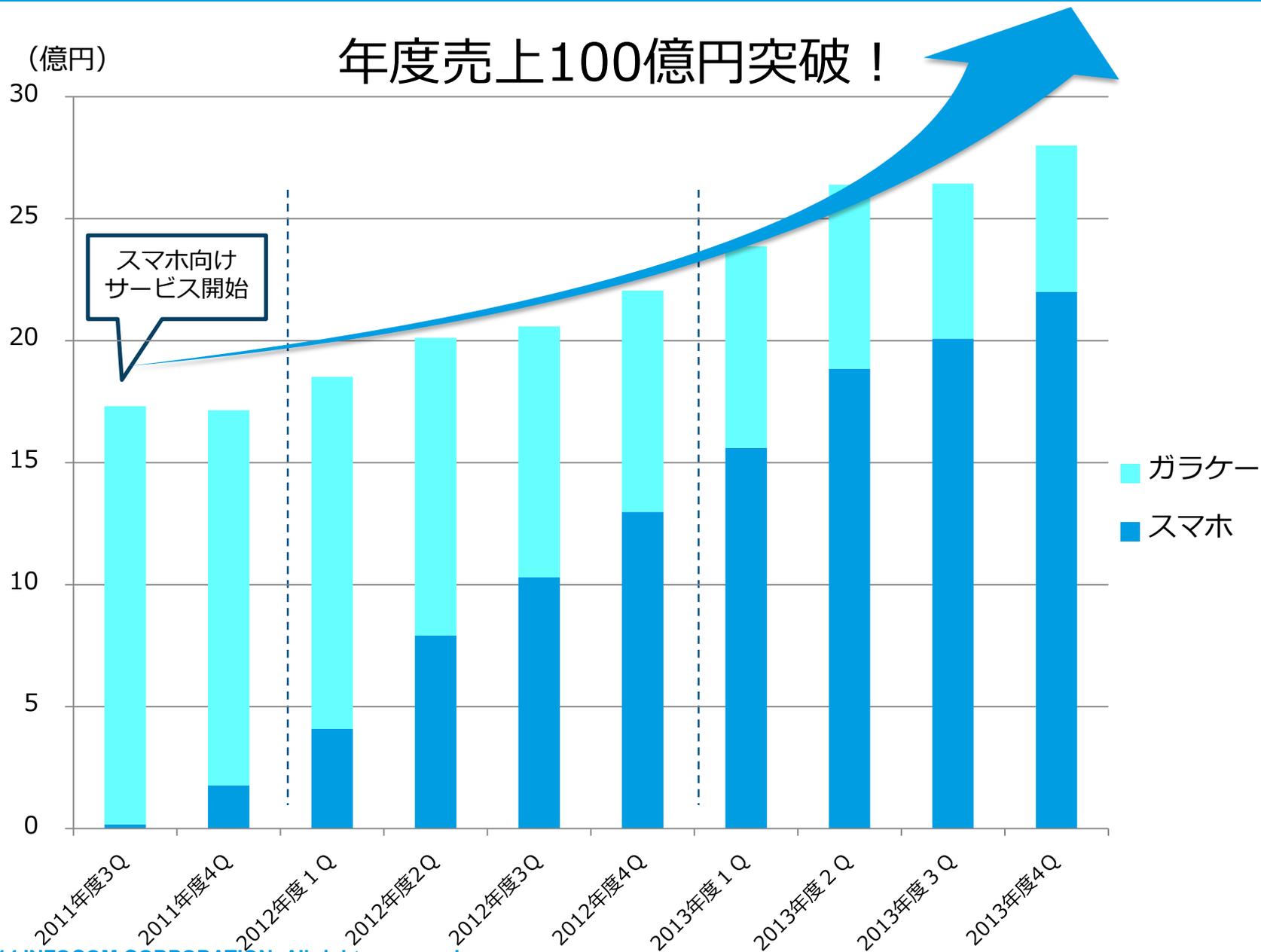
GRANDIT

- ・ ERPパッケージ

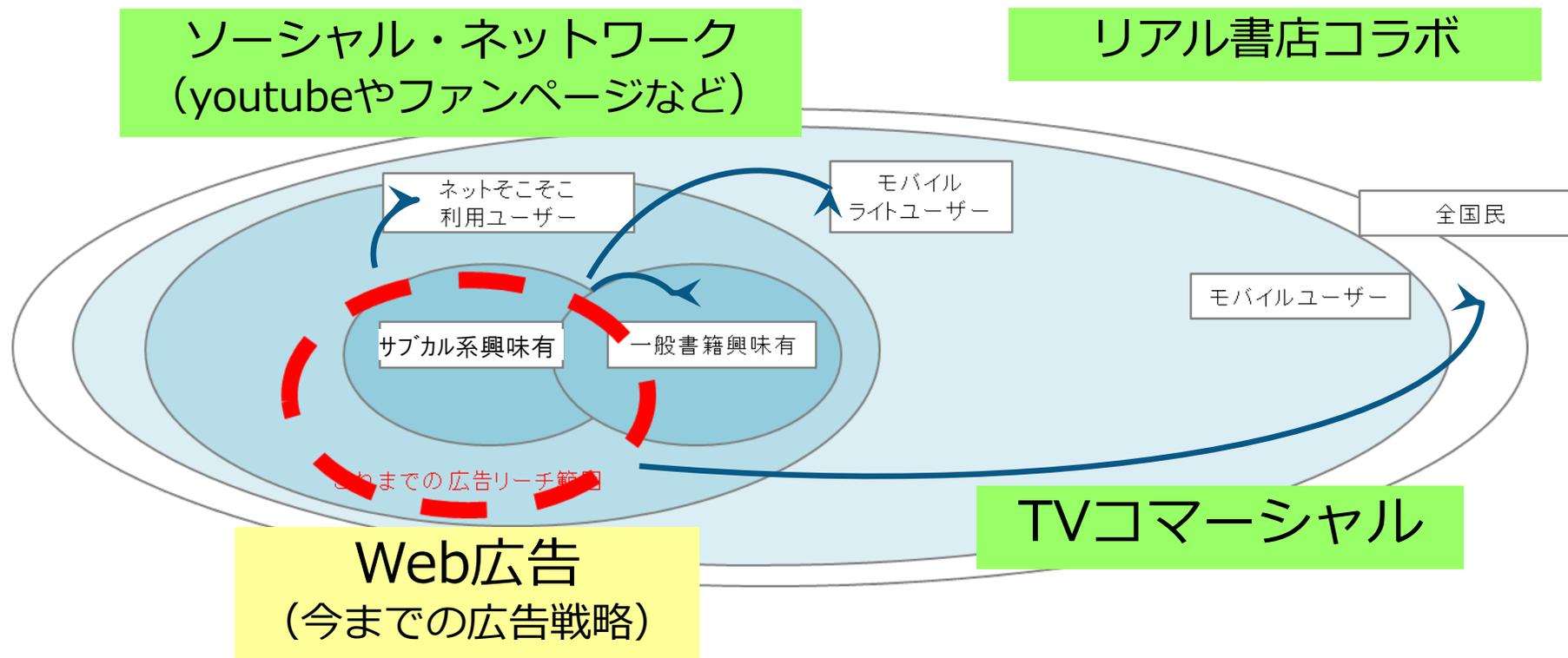
重点3事業の売上高に占める割合

(億円)





◆電子書籍配信サービス **めちゅコミック** 顧客開拓策





Advertisement



Social



Direct Search

TVCMとの親和性UP



ユーザーガイド version UP

初めてのお客様へ

無料コーナー大幅拡充



新レコメンド機能の実装

Recommendation

サイト内CM配信



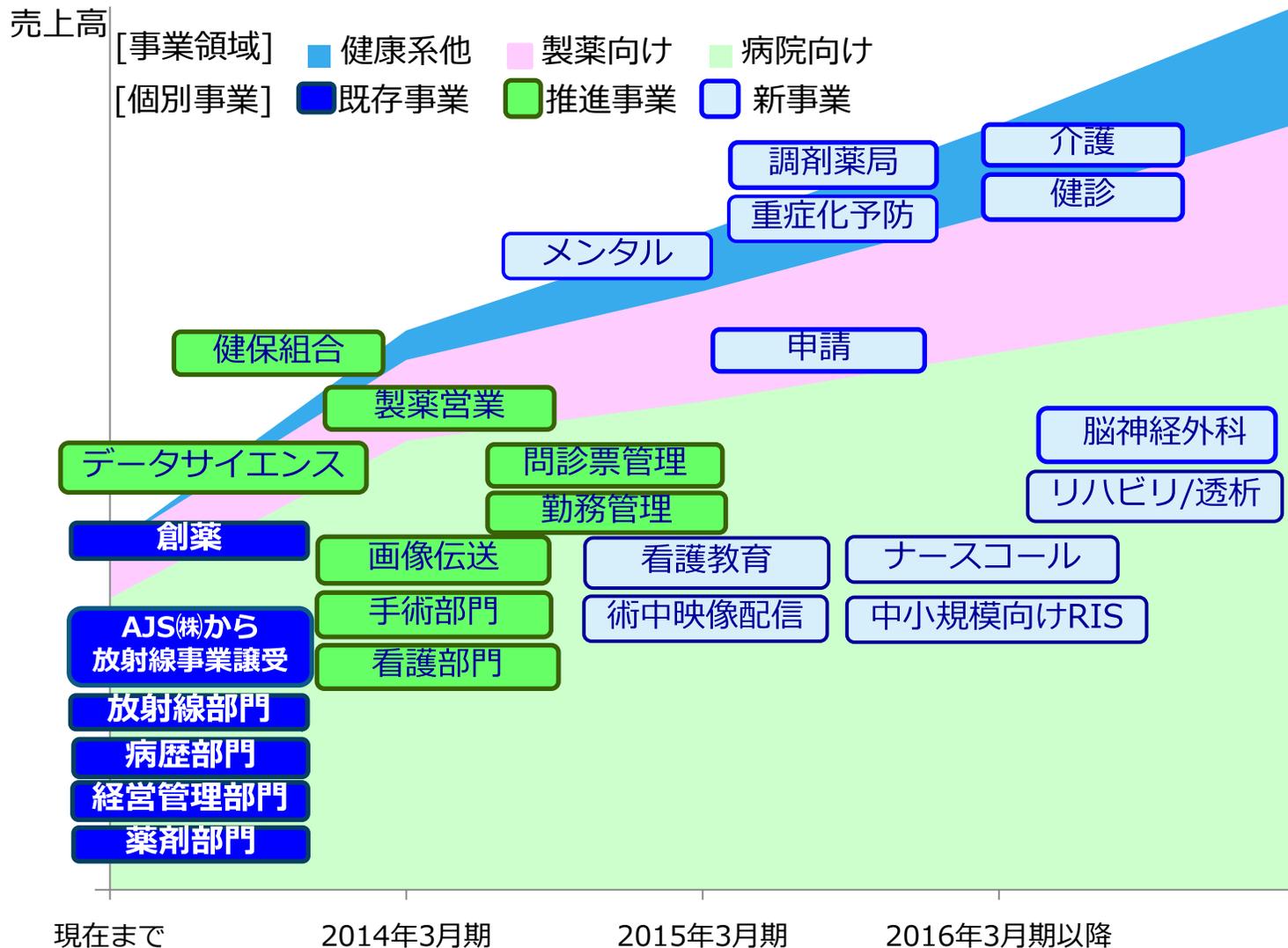
お友達紹介機能の実装

お友達紹介POINT

and more...



■ 新たな顧客層の開拓を目的としたプロモーションの実施

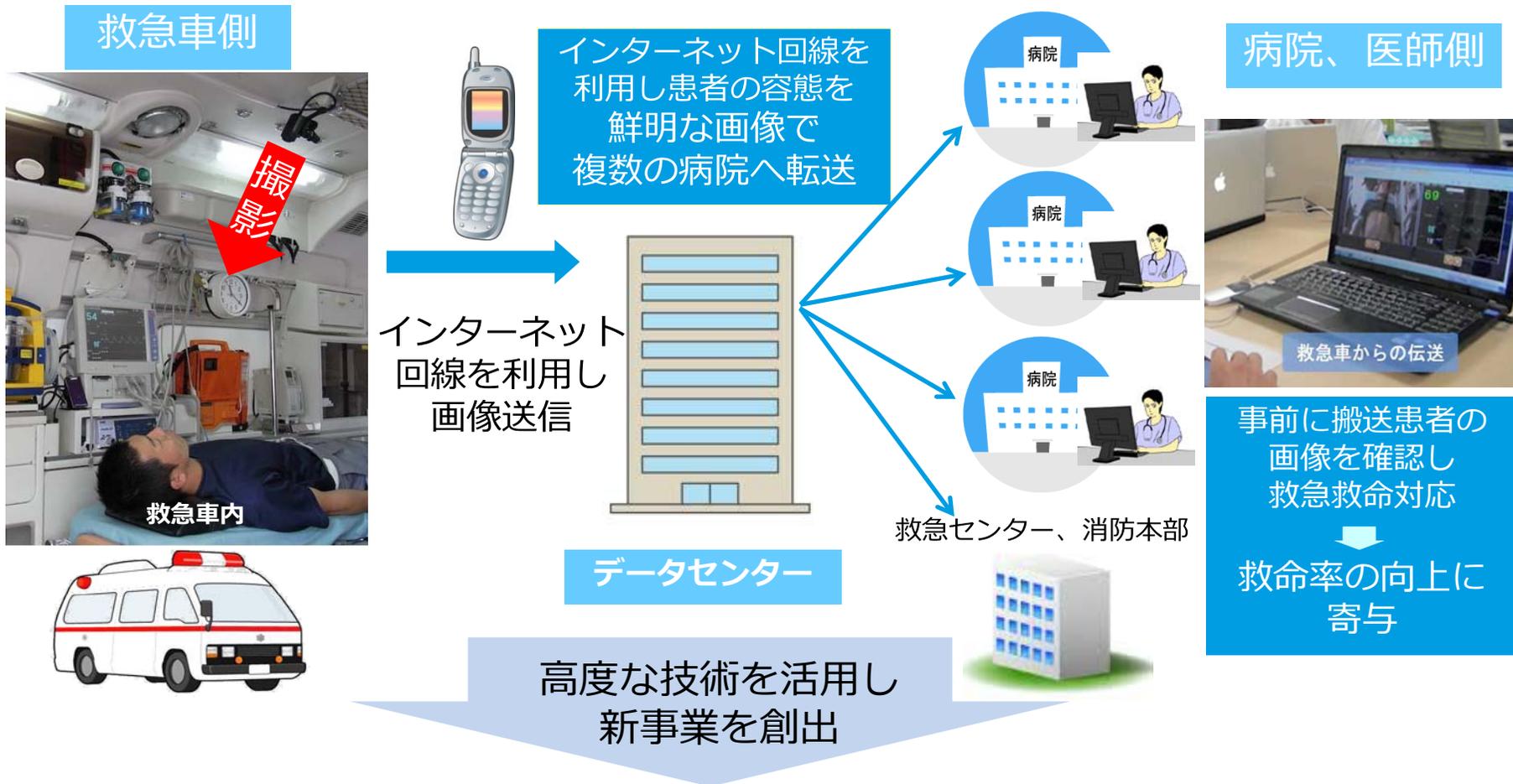


[新事業として検討]

- ・スマートファブリック
- ・ウェアラブル端末
- ・
- ・
- ・

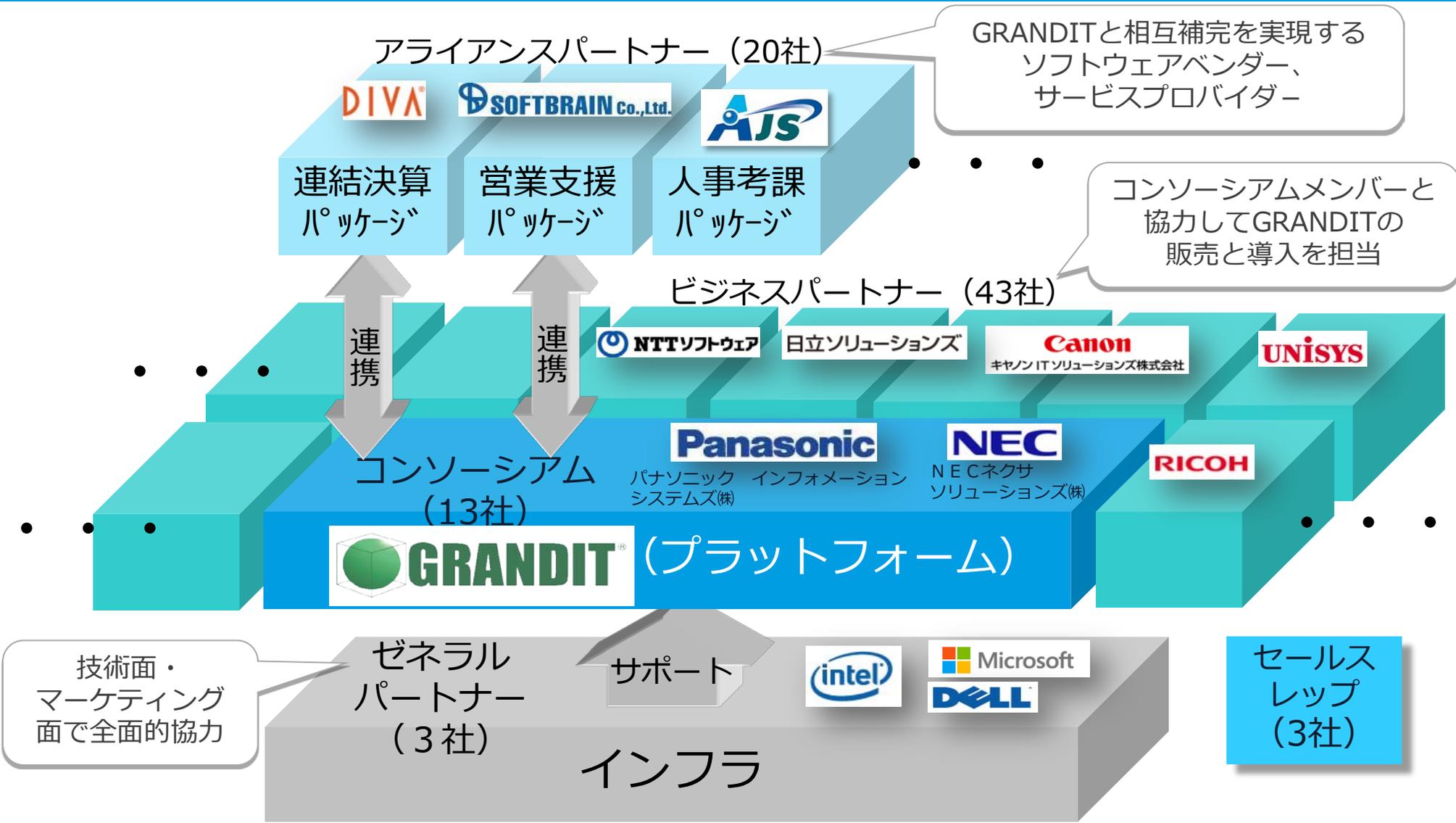
■ 既存事業の強化、推進事業の拡充、新事業の展開

◆推進事業：救急車車内映像伝送システム *HiSMRT99*



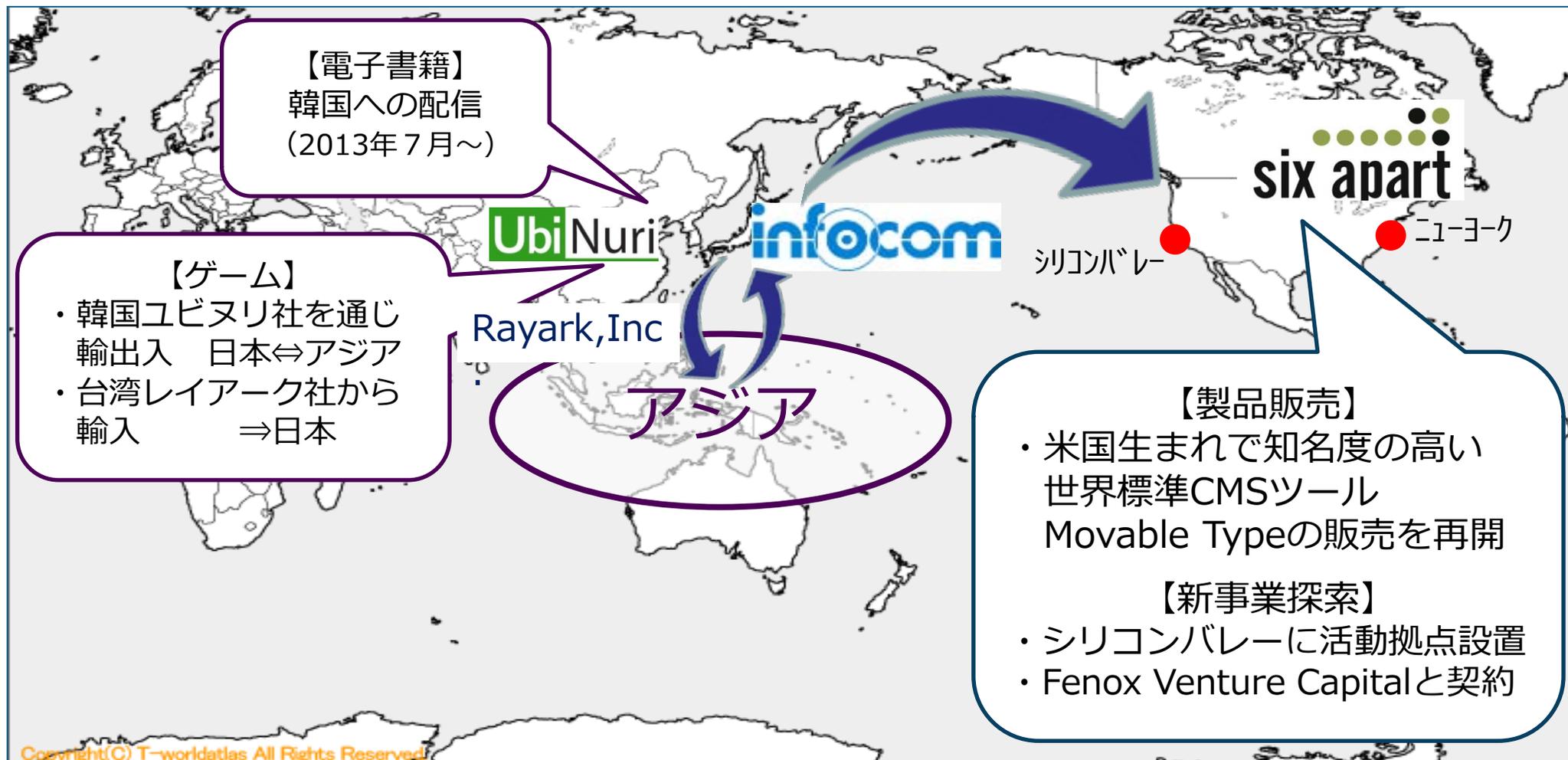
手術映像アーカイブ、地域医療サービス など

GRANDIT パートナーシップ



連携ソフトウェアと開発販売パートナーの拡充

海外展開



■ アジア市場：電子書籍、ゲームなどのデジタルコンテンツを流通

■ 北米市場：Movable Type (ムバブルタイプ)の販売再開、新事業の探索

United Innovation : 進化

1. 環境変化へのスピーディな対応による“進化”
 - ・ チャレンジ文化の醸成と新規事業・サービスの創出
 - ・ 市場変化、技術変化へのスピーディな対応
2. 重点事業領域の業容拡大に向けた“進化”
 - ・ ネットビジネス、ヘルスケア領域での成長加速と企業向けITサービスの拡充・変革
 - ・ M&Aの積極的推進による成長加速
3. “進化”を支える事業基盤の継続的強化
 - ・ 顧客視点、品質視点を重視した業務プロセス革新
 - ・ 事業推進、グローバル視点での人財育成強化

本資料は、当社の会社説明・業績説明に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

また、本資料で取り扱う数値は原則億円単位としており、経営指標や増減率については一部を除き億円単位の数値で算出しています。

本資料は一部を除き2014年3月31日現在のデータに基づいて作成しております。

本資料に記載された会社名、サービス名及び製品名等は該当する各社の商標又は登録商標です。

本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性や完全性を保証、約束するものではなく、また今後予告なしに変更させていただくことがあります。

問い合わせ先

インフォコム株式会社

広報・I R 室長 田中 新也

TEL : 03-6866-3160